

***** 薬局紹介 *****

三愛会 秋田東病院 薬局

薬局長

高橋 守

当院は、昭和55年に開設された、病床数140の精神科単科病院です。老人性認知症疾患治療病棟B1つと精神療養病棟2つの3つの病棟があります。地域の中で、老人医療の精神科専門機関としての役割を果たしています。秋田市の東北部、秋田温泉から仁別へ向かう途中、太平山を望む緑に囲まれた、精神科の病院としてはナイスな（笑）、心静かに過ごせる環境にあります。

薬局は、薬剤師2名、助手1名です。外来がほとんどないので、日々、入院調剤に当たっています。中小病院のため、院内で薬局に求められるものは、調剤業務以外に感染対策、検査発注業務（検査室がないため）、スタッフ教育など、多岐にわたります。

認知症看護の現場では、患者様の治療と介護に細やかな対応が必要とされ、投薬もいろいろ工夫しないと上手くいきません。我々も調剤して払い出して終わりではなく、投薬がスムーズにできるように現場の声に聞き耳を立てて、薬剤師として関わっていけることを日々模索しているところです。看護師が見て分かりやすい印字の工夫。手書きですが、リアルタイム薬歴記載による処方内容のチェック。こまやかな処方変更への対応など、看護との連携を大切に、できることからコツコツとやっています。そして、認知症治療に薬剤師としていかに関わるかが大きな課題です。また、中小病院で定額医療、という薬剤師にとっては厳しい条件で、大病院で当たり前のように行われていることや、医師や看護の現場から最も求められていることを、限られた機材、少人数でいかにしてやっていくかを日々追求しているのが、現状です。

最後になりましたが、薬局長は医師や看護師、その他スタッフとの相談役として頼りにされる存在で、薬局内は、笑顔の絶えない癒し系空間となっているのが、ちょっと自慢です。仁別方面へお越しの際は、是非お立ち寄りください。

